



よいことのために手を取りあおう

週報第7号令和7年9月4日発行



「シドニー・オペラハウス」

横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】 横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303 号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】 毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／祝康一 副会長／渡辺直昭 幹事／小笠原憲介

第 2455 回例会 令和 7 年 8 月 28 日

斉 唱 「四つのテスト」

ゲスト 聖ヨゼフ学園インターアクトクラブ

会 長 報 告

今週の会長報告のテーマは故郷です。

最近 8 月ということでもあり、戦争に関連した番組がたくさん見受けられます。第二次世界大戦の話がメインですが、大きな戦争の話を見てふと我に返ると私の家族の中で戦争が確かにありました。私の父は戦争により傷を負った傷痕軍人でした、沖縄戦に従軍し高射砲舞台に所属しておりました。グラマンの爆撃を受けて、右臀部と右足に傷を負っております。父の話では急降下してきたグラマンのパイロットがニヤッと笑ったと思ったら爆弾が落ちてきたそうです。父はひめゆり部隊の応急処置を受けて一命をとりとめたとのこと。帰国の病院船が出るとき沖縄軍ナンバー 2 の長参謀長官が出向いて乗船している傷痕軍人の人たちに対して敵は食い止めておくので傷がいえたら帰ってきて一緒に戦うことを望むとのことだったそうです。そうして日本本国へたどり着いたわけですが父と同じ部隊の戦友は全員が玉砕して全滅したそうです、今の私がここに生きているのは父が傷を負ったことによるわけで不思議な運命を感じます。

あるエピソードがあります、家族で沖縄決戦という映画を見に行きました。そこで父が命を助けてもらった上原婦長の壮絶な死亡のシーンがあり父は初めてこの婦長さんの最後がわかったとのこと映画が終わってもしばらく席を立ちませんでした。父は傷が癒えると米国民政府統治下の奄美大島（昭和 28 年 12 月本土復帰）より鹿児島目指して密航いたしました、なんと 400 キロを命がけで北上してたどり着いたとのこと。全国の奄美出身の方々の家を回って居候させていただいたそうです。その後鹿児島県三島村の竹島（韓

国ともめている竹島ではありません）で教師をしているとき、密航者として指名手配されているのがわかり、出頭したようです。

私が小さいころ教員住宅で傷痕軍人の飲み会が腕や足のない人々がおお声出して笑い涙ぐむ姿は子供心にも胸に迫るものがありました。焼酎で顔を真っ赤にした父が「また戦争が始まったら、僕は命がけで戦争を止めに行く」どんな理由であろうと戦争は絶対にダメだと強く繰り返し言い聞かされました。母は生粋の薩摩おごじょです。実家は溝辺町（現霧島市）で高祖父が西南戦争に従軍激戦地の田原坂で戦死しています。西南戦争へ出陣する際は、爺さんは家族に対してどうせ負け戦じゃっどん（だが）西郷さんがたったのならしょうがなかといいながら母の祖父当時 5 歳の時でした。馬の上よりだか抱えたそうです。

高祖父は田原坂で被弾してしまった仲間を助けるためにたけやぶの中に飛び込みそのままの戻ってこなかったそうです。島津の熾烈な圧政に苦しんだ奄美出身の父は、あまり薩摩藩のことが好きではありませんでしたが、西郷さんは別です。島流しにあったとき、島民に同情を寄せ圧政より救おうとした英雄ですし、尊敬していました。母は戦争中特攻基地の勤労奉仕に従事していました。基地の正式名称は「国分海軍航空隊第二基地」霧島連山が見渡せる広大な大地十三塚原にあり母の奉仕作業は掩体壕建設の手伝いでした。沖縄に向けて特攻機を見送り母は「残念じゃった」と語っていました。

散華した若き特攻隊員は 150 人に上ります。特攻基地の滑走路あとは小学生の私たちの遠足の時の遊び場でした、何せ舗装道路のない村でしたからボール遊び かけっこには最適の遊び場でした。

昭和 47 年同地に鹿児島空港がオープンしました。小学校教員の職を全うした父はなくなりその後母もなくなりました。晩年横浜の介護付き老人ホームで過ごした母は、趣味の読書、クレヨン画を楽しんでいたようです。ある時母に質問しました。西郷さんのことをどう思っているかと質問しました。母は、そうじゃねえ、と答えました。

あんまり好きじゃないそれを聞いてびっくりしました。どうしてと聞き返しました。西郷さんに立つ大義があったとしても、こらえていれば戦にはならなかった、薩摩軍官軍合わせて一万四千人の戦没者を出した日本最後の内戦。女性そして母親の視点から見る西南戦争、太平洋戦争での特攻隊は無駄な戦ということでしょうか。男性と女性との戦争に対する考え方を改めて深く考えてしまいました。

創立記念日

藤林 直美 会員（9月1日）

生方 常明 会員（9月1日）

宮田 豊和 会員（9月1日）

活動支援金贈呈贈呈

聖ヨゼフ学園インターアクトクラブ



委員会報告

【石渡宏衛会員】

- ・来年マレーシアでの国際奉仕活動について

【松田啓会員】

- ・本年度青少年交換説明会の告知

【渡辺直昭会員】

- ・世界ポリオデー案内
- ・ヨゼフ I A C へポスター作製の御礼

出席報告

会員総数 33名

今回暫定 22 / 33 = 68.75%

前々回確定 23 / 33 = 74.19%

ニコニコBOX

クラブ会員の為、敬称略

祝 康一 聖ヨゼフ学園インターアクトクラブの皆様、活動計画発表よろしく願いいたします。

小笠原憲介 聖ヨゼフ学園インターアクトクラブ、藏谷先生本日はようこそいらっしやいました。活動計画発表楽しみにしております。

上村 政二 創立記念の皆様おめでとうございます。益々のご発展を祈ります。聖ヨゼフ学園インターアクトクラブの皆さん益々のご活躍を期待いたします。

多田 信哉 本日は貴重なお時間を頂き有難うございます。今年度も何卒宜しくお願い致します。

堀野 弘樹 創立記念日の皆様おめでとうございます。聖ヨゼフ学園インターアクトクラブの皆様、藏谷先生ようこそいらっしやいました。活動計画発表楽しみに拝聴いたします。

長澤 尚明 聖ヨゼフ学園インターアクトクラブの皆様、ごきげんよう！本日の「活動計画発表」楽しみに拝聴させていただきます。頑張ってください。

渡辺 直昭 聖ヨゼフ学園 I A C の皆様ようこそ。世界ポリオデーのポスターありがとうございます。9/7に展示致します。お時間ある方は横浜市役所へお越しください。

松田 啓 青少年交換の2024-25年度生の帰国報告会、2025-26年度来日生

の歓迎会、2026-27 年度応募者説明会とここ 2 週間立て続けにあります。頑張ります。

生方 常明 アオイはベトナムで語学研修。
アカネは英国で文化交流研修をそれぞれ無事に戻って参りました。

晝間 勝 創立記念日の皆様おめでとうございます。聖ヨゼフ学園インターアクトクラブの皆様ようこそ。卓話ありがとうございます。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

加藤進 石渡宏衛 鈴木元一郎 藤林直美
今井新一郎 田邊勝久 上原良廣 合谷保爾
青木頼江 中西美里 佐久間務

卓 話

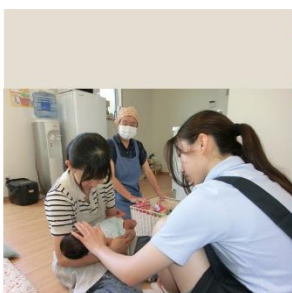
「活動計画発表」



聖ヨゼフ学園インターアクトクラブ

こども食堂（めぐみ助産院）

・中3 成田 果叶



こどもがつくる食堂 (CoC)

・高1 小笠原 禾倫
高橋 怜莉



古切手 (日本キリスト教海外医療協力会)

高1 桐生 くるみ

盲導犬募金

中3 浅羽 莉央

Gnadaa

高1 黒澤 奈那子
古城 彩衣



一步舎訪問

・中1 小野 泰和

ヨゼフ祭

9月27日（土）、28日（日）